



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：平澤 理 副会長：藤澤健二 幹事：杉本徳治 公共イメージ向上委員長：市川満貞



イマジン
ロータリー

2022-2023 国際ロータリーのテーマ

IMAGINE
ROTARY

2022-2023 RI会長
ジェニファー E.
ジョーンズ
＜カナダ (オンタリオ州) ＞



第1635回例会 令和4年10月4日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ 会長談話 平澤理会長



旧暦の10月は日本中の神様が出雲大社に集合する月。「神無月」と言われるのは、出雲以外の各地に神様がいなくなる為で、逆に「神在祭」を行って神様をお迎えする出雲地方では「神有(在)月」と呼ばれています。

出雲大社に集まった神様が話し合う議題はというと……来年の気象のことや農作物について、そして、縁結びも重要なテーマです。この期間に未婚の男女が出雲大社にお参りすると良縁に恵まれるという言い伝えもあります。

また、出雲へ神々が出向いてしまった地方では、旧暦10月は婚姻を避ける風習もありました。

神様が扱う「縁」は、恋愛や婚姻にまつわる縁の他にも、仕事や学業、人間関係、健康など、幅広い意味での縁だそうです。

さて、先日、以前住んでいた埼玉に久しぶりに行って来ました。私も年を重ねると言うように車の運転もおぼつかなくなるので、終活の意味で、銀行口座の解約も兼ねて訪ねてみました。

以前、住んでいた所は圏央道の鶴ヶ島で降りて10分位の所でしたが、10年も過つと大型店がいくつもできていて、時の流れを感じさせられました。

銀行を4つ程まわりましたが、驚いたのは三菱UFJ銀行でした。「解約しに来たのですが。」と申すと、案内の方が「予約してありますか？」と言われ「いいえ。」と答えると「コロナの影響でキャッシュコーナー以外は完全予約になっているんです。」と言われ、どうしたらいいものかと思っていたら、係の人が「通帳を見せてください。」と言われたので渡すと「長野からいらっしゃったのですか。」と言われ「少し待つかもしれませんが、予約した人の間に入れる様に致します。」と言って頂いたのでホッとしました。住所変更はしておくものだと思います、30分程待ちましたが、解約して頂きました。

本来ならば県外に預金をして置けば、相続の時に国税の調査は入らないので一番良いのですが、子供達が大変だと思ひ、思いきった次第です。

■ 慶 祝

10月誕生祝い

・中川博夫会員 ・兼子展世会員 ・小川秋實会員



9月誕生祝い 宮下健会員

■ 幹事報告 杉本徳治幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・ロータリー奉仕デー「クリーンアップ天竜川大作戦」打合せ会の報告

宮原英幸職業・社会奉仕委員長



- ・開催日 10月15日（土） 受付午前8:30より
- ・集合場所（開会式） 天竜川と三峰川の合流点付近
- ・作業予定場所 大橋から新水神橋の両岸
- ・出席予定者は現在のところ 23名
- ・開会式場からの移動については配車予定を伝え、当該車両に便乗し、坂下駐車場に一旦集合の上、両岸に分かれて作業を行う。

・10月1日（土）伊那青年会議所創立55周年記念式典の報告

平澤理会長



10月1日（土）伊那青年会議所創立55周年記念式典が県伊那文化会館で行われ、参加して来ました。中山彩香理事長の「これからも若き世代の力を結集し、どんな困難にも歩み続けていく」という誓いの素晴らしい挨拶があり、感動しました。

県内のJC関係者・関係団体の代表者約100名が出席し、これまでの活動を振り返り、今後の発展を願う式典でありました。

・10月2日（日）第1回会長エレクト・次期幹事研修の報告

市川修次会長エレクト



第一回の会長エレクト・幹事研修が10月2日（日）13時よりオンラインにて開催され、参加者は83名、池田次期ガバナー補佐と宮下次期幹事と共に出席致しました。

最初に古川研修リーダーより「ロータリーは一年毎の活動から継続的な活動に移行してきており早い段階から計画を立てる必要がある」との趣旨説明があり、続けて折井次期ガバナーより自己紹介、そして折井年度で最もやりたい事としてロータリーの最優先事項である「ポリオ根絶」の為に「古着deワクチン」に地区をあげて取り組みたい、との話がありました。「END POLIO NOW」戦略の実現で公共イメージの向上、会員増強を果たしていきたいので積極的な参加をとの願いがありました。

その後、古川研修リーダーより地区内の状況や今後の予定等話があり、伊藤ポリオ根絶コーディネーターよりポリオについての話がありました。

特にこの中で力説していた事は「ポリオは途上国の話」と考えている人が多いが決してそうではなく、世界に一人でも感染した人がいれば全世界全ての子供たちにワクチンを打つ必要があり、この一年間では3ヶ国31名の感染者が出ている、その為に世界の3~4億人の子供たちにワクチン接種を続けている、日本でも毎年100億円をかけて子供たちに接種している。2026年にポリオ根絶を目指しているが多大な資金が必要でありその理解を、との話がありました。

その後、地区ごとに分かれてディスカッションが行われ、当上伊那グループでは池田次期ガバナー補佐を中心に意見交換がなされました。「次年度のクラブ運営」がテーマとなっておりましたが初めての顔合わせでもあり、自己紹介とクラブの現状が中心テーマとして話し合いがおこなわれました。

・ゴルフ部よりお知らせ

加藤篤ゴルフ部長



ゴルフ部より連絡申し上げます。既にご案内が届いていると存じますが、ゴルフ部第3回ゴルフコンペを10月26日（水）に塩嶺カントリークラブで行いますので、ゴルフ部以外の会員の方も含め奮ってご参加ください。

また、前日も連絡しました恒例の伊那RCと伊那中央RCの合同ゴルフコンペを、11月12日（土）に中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部で行います。こちらの案内も近日配信しますので、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。



10月は米山月間でありロータリー学友参加週間です。ロータリー学友にスポットを当て、つながりを深め、共に協力する機会を模索することが期待されています。今月はロータリー学友として、元米山奨学生（米山学友）の佐古ウズビさん、周順圭さんにお話を伺っています。

佐古ウズビさんは西アフリカ・マリ出身の元米山奨学生で、後に日本国籍を取得し、現在は教育者として、またロータリアンとしても活躍しています。そんな彼から見た日本人と日本の課題、そして未来に向けた願いが書かれています。

マリでは成績が悪ければ小学1年生から留年があり、3回目の留年で強制退学・最終学歴小1となります。高校卒業時に成績が良ければ、国費で留学生として海外に行けます。ただし、行き先は選ばません。彼はまず中国に行き、その後、日本に渡っています。

1991年に日本に来て、京都大学大学院に入学し、1年間だけ、月5000円程度の格安の寮に入れましたが、貧しい状況の中、マリにもロータリークラブがあることから、ロータリーに関係しているなら、と米山記念奨学金に挑戦し、それが受けられるようになり、世話クラブは京都北ロータリークラブであったと。

彼は2018年には京都精華大学の学長に就任し、2019年にはお世話になった京都北RCの会員になっています。ロータリーは、会員が気兼ねなく過ごせる家のような存在であり、日本で安心して暮らせるのは、一つはロータリーのお蔭。居場所づくりとは「人と人のつながり」だと思っています、と言っています。

一方で、日本社会と日本人が、ロータリーと同様に異文化や外国人を受け入れているか、といえは、はなはだ疑問に感じます。「アフリカ出身者、初の日本の大学学長」とよく言われましたが、いまだに“初”のままです。これでは特例となってしまいます。私は特別ではありません。留学生として日本にきて、勉強して、仕事に就きました。私のような外国人は、他にも大勢います。教育、研究面で多様化を推進する国は、よりオープンです。

日本人独特の性質の一つがテンプレート化、フレーム化です。日本の教育も日本人を統一するためにつくられているかのようです。システム化した流れの中で、学校側が評価するのは進学率や就職率。これでは学生や生徒は単なる製品でしかありません。フレームに入れてしまった方が、扱いやすいのは分ります。しかし、日本人もそれぞれが個性を持っているわけです。互いを認め合うことが、フレームを壊すスタート地点になるのではないかと考えています。

日本ではよく「空気を読む」と言います。しかし、多くの場合、空気を読んでいるフリをしているだけ。テンプレート化、フレーム化されたその場の空気に助けられている人、あるいは空気に逃げている人ばかりです。これは今後、グローバル化が進む中で、非常に危険なことだと思っています。

日本が多様化していくに当たり、外国人が持つ固有の文化、姿勢を重んじながら、全員で日本社会を形成していくのが、何よりも大切です。

私が日本人に期待することは、自らの個性と文化を大切にしながら、人と人とのつながりを築く。つまり、「個」として外の世界と関わっていく、ということです。私の大学では、日本人学生と留学生が交ざり合い、互いに刺激し合って「個」を磨くことを、最も重視しています。

アメリカから米山学友の周順圭さんが来日、米山記念奨学会に50万ドル（7200万円余）の寄付を表明し、周さんの思いが書かれています。

僕は上海出身で、中国の大学で1年を終えた後、電子工学の勉強に専念できる環境を求めて日本への留学を決めました。東京工業大学学部・修士課程、東京大学博士課程で半導体の知見を深め、この分野の最先端であるアメリカへ、技術移民として渡りました。

米山奨学生になったのは1962年、東工大の学部4年次です。留学中、一番困っていた時に助けてくれたのが、米山記念奨学金でした。最初にお世話になった東京西RC、その後、東京世田谷RCで3年間お世話になりました。

渡米後、半導体研究の専門家として、幾つかの企業でLEDの開発・製造に従事し、半導体の製造をサポートする会社を設立しました。おかげさまで成功を取め、創業する若者を支援するようになりました。一般的な投資ではなく、経営のノウハウを教えたり、人材を派遣したり、そうやって応援した

会社が上場などを果たせた時、一緒に喜びを分かち合うのです。

日本では後期高齢者といわれる年齢ですが、僕はこの言葉が嫌いで、“後期貢献者”と呼ばれたい。僕は中国と日本、アメリカの教育機関に寄付をしています。人生でお世話になったこの3つの国には仲良くしてもらいたいし、そのためには若者にもっと交流してほしいという気持ちがあるからです。今回の寄付に至った思いも、そんな希望からです。

ロータリー学友の皆さんにも、自分の仕事や事業が成功するか否かにかかわらず、ロータリーや自身が学んだ場に感謝し、自らサポートしていくという気持ちを常に持ち続けてほしいと願っています。僕はこれからも、生きていく限り社会に貢献していくつもりです。

この二人の特別インタビューで米山記念奨学金の重要性が理解できました。

ロータリー米山記念奨学会資料では1967年の財団設立時の採用数は59人、その後採用数を増やし、1998年には過去最高の1100人、2022学年度の採用数は前年度から12人減の898人となっています。

2600地区では、2021年7月～2022年6月の寄付額は26,723,000円で個人平均では13,965円となっています。地区では奨学生18人の受け入れで一人当たりの年間支給額は約150万円位かなと思います。

来年1月に創刊70周年を迎える「ロータリーの友」ですが、この10年間を振り返り5人の特別顧問が任期中の思い出、「友」に寄せる思いを語っています。それぞれ目を通して頂ければ、と思います

「デジタル時代の企業改革が会社と地域を変える」として、つづく（株）代表取締役井領明弘さんが、デジタルの力で地方経済に面白い風が吹いてほしいと考えながら、活動しています。小さい会社の御用聞きと言いましょうか、いわば「会社のかかりつけ医」として企業のデジタル化を支援しています。

10年、100年、商売が楽しく続くにはどうしたらいいのかという提案ですが、四つのステップがあり、一つ目は大きなゴールを決めようということ。二つ目が、そのゴールを実現するための中くらいのゴールを決めようということ。三つ目がその巨大な山の登り方、ルートを決めようということ。そして四番目、はやる気持ちをぐっところえ、小さなことから進めようということ。平たく言うと、商売が長く続くためにこのような四つのステップがあることをご理解下さい。

今の時代、たくさんのデジタル化を支援するツールが出ています。新しい道具を使いながら仕事を「暇」にしていればと思います。

利益を出すということは、結局、日々のコツコツとした、理念を持った活動です。面白いなあ、ということをつづいていけば、商売は楽しく、そして長く「つづいて」いきます。変えるべきものは道具ではなく、私たち自身の考え方です。

デジタル化で得られたもの、システム導入がうまくいかない訳、とかが記載されています。後で読んでおいて頂ければと思います。

友愛の広場で、“ロータリーの将来について”書かれています。ロータリーでの経験は人生道場ではないかと思っています。ロータリーがこの世に誕生した原点に戻り、ロータリアン一人一人が自分の職業を通じて、少しずつでよいので周りの人に良い影響を与えるような活動に力を注ぐべきです。と危惧しています。

■ ニコニコボックス

- ◆平澤理 10月に入り過ごしやすくなって参りました。10月は行事が沢山ありますが、ご協力の程お願い致します。
- ◆杉本徳治 8月、9月、10月生まれの会員の皆さん、お誕生日おめでとうございます。コロナも少し落ち着き、久しぶりにリアルとZoomによる例会ができます。10月は、ガバナー補佐訪問・ロータリー奉仕デー・未来へつなぐ森林（もり）づくり・ポリオデー等の事業が実行されます。会員皆様の多数の参加をお願いします。
- ◆田中真人 今月はロータリーだけでなく子供の行事も目白押しで軽くパニックになっております。コロナにも気を付けながら乗り切りたいと思います。
- ◆田中洋 久しぶりの例会場です。今年度のクラブ計画書を納めさせていただきました。お世話になりました。全員が例会場で会える日が早く来ますように。
- ◆井上修 久しぶりのリアルの参加です。皆様のご尊顔を拝し（除、池田さん）改めて自らの学習意欲を鼓舞されております。



■ 出席報告

会員数47名 出席免除会員5名 長欠会員1名
本日出席者27名（内Zoom4名）
事前メイク3名 出席率73.17%
前回出席率 修正なし



■ 理事会報告

杉本徳治幹事



1. 次年度役員・理事候補者の指名委員委嘱について
2. 地区大会信任状の選挙人について
3. 次年度の地区補助金事業プロジェクトチームについて
4. ロータリー奉仕デー「クリーンアップ天竜川大作戦」について
5. 10月の行事予定並びにメイクアップ扱いについて
6. その他

■ 指名委員委嘱

平澤理会長

・細則により、元会長、現会長・幹事・会長エレクトが指名委員に委嘱されました。



■ 点 鐘

13:10

次回例会
10月15日（土）8時30分
ロータリー奉仕デー「クリーンアップ天竜川大作戦」